

令和5年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 大積 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語、算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数）

教科に関する調査（国語、算数）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

※本校の6年生については、単学級ですので、個人が特定されないように公表の方法については、配慮しています。

3. 教科に関する調査結果の概要

(1) 全国・本市の学力調査（国語、算数）の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	9.4	59
全国	9.4	67	10.0	63

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	全体的に全国の平均正答率を下回っている。ただし「情報の扱い方に関する事項」についての知識及び技能においては、全国平均を上回っている。
	よくできた問題	送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができています。
	努力が必要な問題	図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。
算数	全体的な傾向や特徴など	全体的に全国の平均正答率を下回っている。
	よくできた問題	伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることできている。
	努力が必要な問題	台形や正三角形の意味や性質について理解することや三次元の表から、条件に合う数を読み取ることに課題がある。

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> 朝食を毎日食べている児童の割合が全国平均に比べて低い。また、毎日同じくらいの時間に寝ている児童の割合も全国平均に比べて低く、規則正しい食生活や基本的な生活習慣の定着が課題といえる。 学校に行くのが楽しいと思っている児童や友達関係に満足している児童の割合が、全国平均に比べて高く、学校生活を楽しんでいる様子が伺える。 学校の授業時間以外に普段（月～金）、勉強する時間が1日あたり1時間以上の児童の割合が全国平均に比べて高いが、家で自分で計画を立てて勉強している（学校の授業の予習や復習を含む）児童の割合は全国平均に比べて低いため、自主的に学習に取り組めていないことが課題である。 自分にはよいところがあると回答した児童の割合が全国平均に比べて高く、自己肯定感の高まりが伺える。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

<ul style="list-style-type: none"> 毎週月曜日の算数タイムや給食準備中の補充学習を継続して行い、数の処理の仕方やデータの読み取りや活用、図形の意味や性質、作図などの問題を重点的に復習する。 学校図書館職員によるブックトークを継続し、読書環境を更に充実させながら読書活動を広げていく。 教科におけるICTの活用などを更に推進し、意見交換や調べ学習等の活動の充実を図っていく。
--

② 家庭生活習慣等に関する取組

<ul style="list-style-type: none"> 大積っ子ががんばりカードを活用して、家庭学習習慣や規則的な生活習慣をさらに定着させる。 家庭学習ウィークを設定し、家庭での学習計画、学習習慣の定着を図る。 自分で計画を立てて進める自主学習の定着を図る。参考自主学習ノートを掲示し、内容の質を高めながら家庭学習の時間を増やしていく。
--